



特定非営利活動法人 すくすく子育て  
**やぎハウス通信**

2021年2月16日発行

**VOL.5**



発行元：特定非営利活動法人すくすく子育てやぎハウス  
〒325-0074 栃木県那須塩原市松浦町121番地42  
TEL/FAX：0287-74-2988  
E-Mail：[yagihaisu@rb4.so-net.ne.jp](mailto:yagihaisu@rb4.so-net.ne.jp)  
WEB：<http://www002.upp.so-net.ne.jp/yagihaisu/>

### ごあいさつ

日頃、やぎハウスに対し、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

コロナ禍の中、2021年が静かにあけました。外出自粛など不自由な日常生活を余儀なくされているので、今後のワクチン接種に期待しているところです。

やぎハウスでは子どもたちの体調チェックや居場所の消毒、食事時のアクリル板設置など飛沫感染防止に注意しながら、なんとかか過ごしています。

現在、やぎハウスに来ている子どもは、小学生10人、中学生12人の22人です。今年度は中学3年生が3人おり、高校受験が間近に迫っています。そのため昨年11月から塾の講師をしていた方をスタッフに迎え入れ、週2日の受験勉強に取り組んでいます。短期間ではありますが、3人の希望が叶うといいなと思っています。

NPO法人すくすく子育てやぎハウスも設立後5年目に入ります。現在は①要支援児童放課後応援事業（送迎、学習、食事、入浴、遊び）②子育て短期支援事業（ショートステイ）、③養育支援訪問事業（家事支援）の3事業を実施しています。今後とも、子どもの笑顔があふれる地域を目指して、スタッフ一同微力ですが活動して参りますのでよろしく願いいたします。

理事長 八木澤 秀

### まごころありがとうございます

〔寄付金、物品等の支援お礼：順不同〕2020年7月～2021年1月受付分

- ・(有)磯ヶ谷養鶏園様・鈴木内科外科クリニック様・(有)菊地市郎商店様
- ・青木道の駅産直会様・小林ミートショップ様・ミートショップかなざわ様
- ・黒磯市場菊地三男様・那須塩原市社会福祉協議会様・JAなすの女性会様
- ・わかば保育園の皆様・栃木県酪農業協同組合県北青年部様
- ・黒磯地区更生保護女性会様・社会福祉協議会経由（ZAPP黒磯店様・ガイアらくらく館様・あじさい苑様・野田新聞店様・西那須野老人クラブ様）
- ・菊地 彰様・時庭勝彦様・時庭美智子様・岡部松一様・八木澤陽様・林 美幸様
- ・鈴木千代子様・永山桂子様・菊地知子様・臼井良子様・五月女房江様
- ・室井てるお様・渡部紀久子様・青木の程山様・寒井の吉成様 ・その他匿名様

## ♡ 心晴ればれ☀️過ごしたいね！♡

### コロナ禍の中で

R2年5月末、学校の分散登校が始まったのを受け、やぎハウスも子どもたちと過ごすことを再開させました。まずは検温、手洗い。マスクの確認。いくつかの部屋に子どもたちを分け、3密を避けての学習に食事。過ごす時間も短めに。ワイワイ、がやがやと話しながら、同じテーブルを囲んでの食事の風景が当たり前だったやぎハウス。学校でのルールが身について、マスクを外すと全く話さず食事をする子どもたちの姿に、はじめは「大丈夫？具合悪い？」と心配することもありました。アクリル板のパーテーションを設けましたが、間隔をあけての食事は継続中です。元のようにみんなで食卓を囲める日が待ち遠しいです。

部活動、体育祭、文化祭、修学旅行など楽しみにしていた学校行事も中止になったり、形を変えての実施に…。我慢することはたくさんありますが、子どもたちは前向きに生きています。そんな子どもたちの姿をスタッフ一同、応援していきたいです。

### 今日の野菜なあに？

皆様の安定した支援のおかげで、日常の食事はもちろん、野菜、米、菓子など家庭への食材提供ができるようになってきました。「今日は何が来たの？」と通いかごをのぞく子どもたち。「これ食べられる！」「お母さんに…作ってもらう」「今度…の作り方教えてほしい」と会話が弾みます。おうちの方にも大変喜んでいただいています。「食べることは生きること！気力・体力をしっかりと充電するためにも食べることは大切」と、日々の中でメッセージを送り続けています。



### ハロウィンパーティ&クリスマスパーティ

夏にできなかった小学生の行事を10月にハロウィンパーティとして行いました。ごちそうを食べ、ビンゴゲームでは中身の見えない景品を、迷って迷って選び、ワクワク、ドキドキを味わっていました。



12月にはクリスマスパーティをしました。支援していただいたお肉、野菜をふんだんに使いごちそう山盛り！特にスタッフ特製のハンバーガーは大好評でした。またプレゼントにはご支援いただいた文房具、菓子などを詰め合わせました。

どの行事も曜日のグループごとに行います。毎日、子どもたちを迎え入れる準備を、笑顔で、楽しみながら続けてくれるスタッフにも感謝です。



### 心 寄り添って…

2017年の7月から各ご家庭、子どもたちに寄り添ってきました。「大きくなったねえ」「落ちついたねえ」「いろいろなものが食べられるようになったねえ」と様々な場面での変化を感じます。「嫌なものを無理強いせず、自分の思いを伝えていいよ。」を続けてきたやぎハウス。食べ物の好き嫌いをはじめ、学習も「絶対！やらない。」と固い決意を表明する姿がありました。しかし今、自分で考え、生活できるようになった子どもたちがいます。将来の夢を描くこともできるようになりました。

ただ、最短距離で夢に向かうことを考え、「無理かも…」と悩む子どもたちもいます。夢をあきらめてしまうことのないよう様々な選択肢があることを示すことが私たち大人の役割です。



柴原先生との学習会の風景  
「こんなに笑ったの初めて！」  
と、いつも楽しそうです。